

志田雄一郎

区議会レポート
2022年 春号



編集・発行：立憲民主党・無所属クラブ

住所：新宿区歌舞伎町1-4-1 新宿区役所 5階

電話：03-5273-3555 FAX：03-3209-1077



(しだ・ゆういちろう) 1967 (昭和42) 年新宿区生まれ。現在6期目。
総務区民委員会、オリンピック・パラリンピック文化観光等特別委員会に所属。

◎令和4年 第1回新宿区議会 定例会での一般質問 (志田雄一郎) ～緑豊かな都市環境について～ ⇒3月1日に行われた一般質問答弁

前号の区政レポートに掲載した一般質問の答弁が行われました。
前号と重複しますが、質問と併せて以下、記載いたします。

～緑豊かな都市環境について～ 答弁

東京都都市計画審議会において、神宮外苑地区の再開発の計画案が承認されました。
この中で、歴史ある樹木1000本近くが伐採されるなどの可能性があります。
明治神宮は100年ほど前、国民からの寄付により完成した都市公園で、ボランティアの方々が造成工事にあたり、3000本の樹木が献木され、日本初の風致地区として指定され、建物の建築、宅地造成、樹木伐採など、自然景観に影響を及ぼす行為は禁止、または制限されています。

昨年12月14日に公表された東京都の計画案では、樹木伐採に関する説明はありませんでした。
本区では1月の新宿区都市計画審議会での議論を踏まえ、「創建時からある既存樹木の保存に努めるとともに、緑の質の向上を図り、緑豊かな都市環境の保全・強化に向け、引き続き検討すること」など、何点かの意見を東京都に伝えています。

以下、三点質問致します。

① 一点目に、今回、神宮外苑地区の再開発に向けた計画案が東京都都市計画審議会で承認されたところですが、これについて本区としてはどのように受け止めているのかお聞かせ下さい。

緑豊かな都市環境についてのお尋ねです。

はじめに、東京都都市計画審議会で承認された神宮外苑地区の計画案について、どのように受け止め、どう対応するかについてです。

東京都が変更する地区計画では、神宮外苑の良好な風致の保全とスポーツ施設等の集積による活力あるまちづくりの実現や、いちょう並木を中心としたみどり豊かな風格ある都市景観の保全、豊かなみどりと調和した憩いと安らぎの空間整備などが方針に示されています。

区として、今回の変更は、みどり豊かで風格と活力を兼ね備えた、魅力的な都市環境の形成につながっていくと認識しています。

区政相談受付中！

ご意見・ご要望は…

TEL・FAX 03-3355-0546

yuichiro.shida@gmail.com

新宿区議会議員

志田雄一郎



～緑豊かな都市環境について～ 答弁（続き）

②二点目に、今後の計画が進む中で区としてはどのように対応されるのかお聞かせ下さい。

開発計画により、移植が困難な樹木などが伐採されますが、新植等により、従前より樹木の本数が増加するなど、みどり豊かな都市環境を保全・強化する計画となっています。

今後も、計画の進捗に応じて、保存や移植による可能な限りの既存樹木の保全、新植による一層の緑量の確保や質の向上、さらには壁面や屋上緑化による多様なみどりの創出などの検討を深めるよう、東京都や事業者に働きかけてまいります。



※【写真3枚】2022年2月12日 神宮外苑の樹木

撮影：志田雄一郎

③三点目に、今後区内でいくつかの市街地再開発事業が行われる予定です。こうした地域の象徴となるような樹木等の保存や緑豊かな都市の環境をつくっていくためどのようなお考えをお持ちかお聞かせ下さい。

市街地再開発事業における樹木等の保存や緑豊かな都市づくりについてです。

みどりの保全や創出は、まちづくりの重要な視点です。そのため、区のまちづくりの基本方針である新宿区都市マスタープランにおいて「みどりを残し、まちへ拡げる」ことを方針の一つに掲げています。

この方針に基づき、市街地再開発事業においては、地域の象徴となるような既存樹木等を可能な限り現状で保存することを原則とし、保存が困難な場合は、移植等の方法により保護に努めています。

また、新たに創出するオープンスペースや広場等を積極的に緑化することで、みどりの量を確保するとともに、地域への開放性や視認性が高く、生物多様性に富んだ質の高いみどりを整備することで、みどり豊かな都市の環境を誘導しています。

～志田雄一郎 所感～

区としての「みどりの保全・強化、緑量の確保と質の向上、また、壁面緑化や屋上緑化で多様なみどりを作っていく」という姿勢が感じ取れました。この姿勢を今後も堅持していただき、東京都や事業者に対してきちんと区の立場を申し入れていただきたいと思います。

こうしたことが地球温暖化対策の推進にもつながり、新宿区が昨年表明した「ゼロカーボンシティ」の実現にも寄与することと思います。

歴史ある貴重な景観を守り、後世に引き継ぐために、引き続き今後の動きを注視してまいります。